

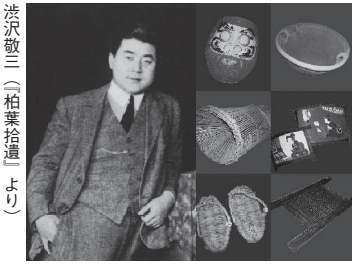
**特別展**  
**「渋沢敬三記念事業 屋根裏部屋の博物館」**—Attic Museum—  
 日本銀行総裁、大蔵大臣を歴任した渋沢敬三はまた、邸内に私設博物館兼研究所を設立した民俗学者でもありました。本展では、渋沢敬三の経歴と民俗学研究を紹介いたします。  
 会期 9月19日(木)～12月3日(火)  
 会場 特別展示館

**「世界のニッポン、みんなのニッポン」**  
**「夏秋のみんなのフオーラム2013」**  
 新しくなった日本の文化展示「祭りと芸能」「日々の暮らし」を広く知っていただくため、約半年間、展示のテーマに関連した様々なイベントを開催します。  
 11月23日(土・祝)まで  
**■関連イベント**  
**◆展示場クイズ「みんなのQ」**(8月27日(火)まで)  
 日本の文化「祭りと芸能」「日々の暮らし」編新しくなった日本の文化展示を楽しみながらクイズに挑戦してみましょよ。

**企画展**  
**「アマゾンの生き物文化」**  
 野生のサルや鳥などをペットにして飼育慣らするなど、地球最大の熱帯林を持つアマゾンの生き物と人とのかわりを紹介します。  
 会期 8月13日(火)まで  
 会場 企画展示場A  
**■関連イベント**  
**◆ギャラリートーク**  
 8月3日(土) 中牧弘允(吹田市立博物館長)  
 8月10日(土) 11日(日) 池谷和信(民博教授)  
 各日13時～13時30分  
 ※申込不要、参加無料、要観覧料

**「新日本の文化展示関連」**  
**「つくりもの」ハレのかたち・おもしろいかたち**  
 講師 菅原亮二(国立民族学博物館教授)  
 西岡陽子(大阪芸術大学教授)  
 福原敏男(武蔵大学教授)  
 祭りや年中行事などのハレの機会に、様々な趣向を凝らした造形物を見物に供する「つくりもの」が、西日本を中心に見られます。各地では、人々はおもしろいかたちを制作することを競い合い、それを楽しみに大勢の人々が見物に集まってきました。そんなつくりものの魅力について考えます。  
 各地のつくりもの(右)上 熊本県山都町・左上 富山県高岡市・下 島根県出雲市

第424回 9月21日(土)  
**「特別展開連」**  
**「屋根裏部屋博物館主人の横顔」**  
 講師 近藤雅樹(国立民族学博物館教授)  
 少年時代に友人たちと一緒に「コレクション」を持ち寄り、馬車庫の屋根裏で博物館ごっこをしていたのが渋沢敬三でした。生物学者になるのが夢でした。長じてからは邸内に本格的な博物館兼研究所を建て、若い研究者たちの育成にも心を砕いた渋沢の一面についてお話しします。



渋沢敬三(柏葉拾遺より)

**企画展**  
**「台湾平埔族の歴史と文化」**  
 台湾の平埔族の人びとが歴史資料、博物館資料をてがかりに、民族のアイデンティティを再構築していくようすを紹介します。国立台湾歴史博物館との国際連携展示です。  
 会期 9月12日(木)～11月26日(火)  
 会場 企画展示場A  
**来館者1000万人達成記念イベント**  
 本館は1977年の開館からの来館者数が、8月に1000万人に達する予定です。8月を記念月間として、感謝イベントを開催します。  
 期間 8月1日(木)～8月31日(土)  
 期間中、高校生以下及び満65歳以上の方は本館展示を無料で観覧いただけます。  
 ※その他詳細はホームページでご確認ください。

**企画展**  
**「友の会講演会(大阪)」**  
 会場 国立民族学博物館 第5セミナー室  
 定員 96名(当日先着順、会員登録必須)  
 第423回 9月7日(土) 14時～15時  
**「みんなのコレクションを語る」**  
 カチーナ人形の作り手たち  
 40年後の「もの語り」の可能性  
 講師 伊藤敦規(国立民族学博物館助教)  
 カチーナ人形はアメリカ先住民のホビの人びとが儀礼で用いる木製の人形です。みんなは1980年前後に283点を収集しましたが、資料情報がたいへん限られている状態です。人形の台座に記されたサインを手がかりに、制作者本人や親族を探し出すことができました。将来的にはインタビュー調査を行う予定です。人形資料を介した「もの語り」の可能性についてお話しします。

**友の会講演会(大阪)**  
 会場 国立民族学博物館 第5セミナー室  
 定員 96名(当日先着順、会員登録必須)  
 第423回 9月7日(土) 14時～15時  
**「みんなのコレクションを語る」**  
 カチーナ人形の作り手たち  
 40年後の「もの語り」の可能性  
 講師 伊藤敦規(国立民族学博物館助教)  
 カチーナ人形はアメリカ先住民のホビの人びとが儀礼で用いる木製の人形です。みんなは1980年前後に283点を収集しましたが、資料情報がたいへん限られている状態です。人形の台座に記されたサインを手がかりに、制作者本人や親族を探し出すことができました。将来的にはインタビュー調査を行う予定です。人形資料を介した「もの語り」の可能性についてお話しします。

第424回 10月5日(土) 14時～15時  
**「特別展 屋根裏部屋の博物館 関連」**  
**「渋沢敬三の「民具」へのこだわり」**  
 講師 近藤雅樹(国立民族学博物館教授)  
 アチックミュージアムの設立者、渋沢敬三は日本銀行総裁や大蔵大臣をつとめる一方、膨大な量の民俗資料を収集し、毎朝、出勤前の2時間を民俗学の研究にあてると、地道な研究をおこなう学者、文化人としても熱心に活動していました。民具という考え方を提唱したのも渋沢敬三でした。彼がそれほどまでに民俗学に傾倒した事情や社会的背景などについてお話しします。  
**第67回体験セミナー**  
**「ニッポンの漆を考える」**  
 世界最古の漆発見の地・鳥浜貝塚と越前漆器  
 10月26日(土)～27日(日) 1泊2日  
 講師 日高真吾(国立民族学博物館准教授)  
 訪問先 若狭三方縄文博物館、片山漆器神社、うるしの里会館ほか  
 ※詳細は「友の会」までお尋ねください。

でも研究者が展示場で説明します。  
 実施日 8月20日(火)、22日(木)、23日(金)  
 時間 14時～17時  
 会場 第5セミナー室ほか

**研究公演**  
**「うたのふゆわん」**  
 アルタイ山脈の周辺地域では「のど歌」という歌唱法がうたいつがれてきました。のど歌のもっともさかんなトウバと、その隣のアルタイから歌手を招きます。  
 日時 9月8日(日) 13時30分～16時  
 会場 講堂(定員450名)  
 ※参加無料、事前申込制

**「学校と博物館をつくる国際理解教育」**  
 センライもつくる。あそぶ。わたる。たのしみ  
 本館を活用した国際理解教育の実践事例の紹介やワークショップを通して、国際理解教育における博学連携の意義や可能性について考えます。  
 日時 8月6日(火) 10時20分～17時  
 会場 講堂およびセミナー室、本館展示場内  
 ※参加無料(事前申込制、当日参加可)  
 お申し込み先  
 情報企画課宛 FAX 06-6878-8242  
 ※各イベントについてくわしくはホームページをご覧ください。  
 ※電話でのお問い合わせ受付時間は、9時から17時(土日祝を除く)です。

**刊行物紹介**  
**人間文化研究機構 監修**  
**『HUMAN』**  
**— 知の森へのいざない vol.4 —**  
 平凡社 定価:1,575円  
 「巨大古墳と王権」を特集し、巻頭で古代史の吉村武彦氏と考古学の松木武彦氏が対談。諸論考で国家形成に向かう列島の足音を聞く。他に、民博の音楽展示・音楽の祭日の紹介などを掲載。



ビデオテーク新番組(8月順次公開予定)

番号	タイトル	時間
1706	インディアン・ジュエリーの現在	27分
3690	Valencia's Virgin Mary Festival and the Dolçaina	23分
8011	El Festival de la Virgen Maria y la Dolçaina	23分
1708	ウダイプルの婚礼	33分
1709	ウダイプルのホーリー祭	20分
7222	ラージャスターンの結婚式	106分
6048	ラージャスターン州メーワール地方のくらしと信仰	—
7223	アイヌの魚皮布の衣装	28分
7160	浜比嘉島のエイサー: 沖縄の旧盆	85分

番号	タイトル	時間
1710	雲南省ペー族の結婚式	23分
1711	雲南省ペー族の中元節	23分
1712	雲南省ペー族のたいまつ祭り	24分
8012	자원봉사자가 본 2012 년 한국의 대통령 선거: 김사연씨의 선택	11分
8013	2012年 安東権氏 時祭(2012년 안동권씨 시제)	11分
8014	소와 함께	10分
2807	보ランティア가見た 2012년 한국의大統領선거: 김·시윤さんの選択	11分
2808	2012年 安東権氏 時祭	11分
2809	牛と共に	10分

**国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ**  
 電話 06-6876-3112  
 FAX 06-6876-0875  
 e-mail shop@senri-f.or.jp  
 水曜日定休  
 ウェブサイトもご覧ください。  
 オンラインショップ  
 「World Wide Bazaar」  
<http://www.senri-f.or.jp/shop/>

**来館者1000万人達成記念福袋**  
 今月(2013年8月)は、民博の来館者1000万人の達成を祝う記念月間です。  
 ミュージアム・ショップでも、みなさまのご愛顧への感謝をこめて、記念福袋を販売します。民博のオリジナルグッズや世界各地の民芸品を組み合わせた民博ならではの内容をご用意しています。何と何の組み合わせかは見てのおたのしみ。  
 民博では記念イベントも開催されますので、その際にもぜひお立ち寄りください。なお、記念福袋は1000名限定ですので、お求めの方はお早め。



記念福袋 1,050円(税込)